

2022 年 4 月 25 日

専門委員会開催報告

会合名	第 13 回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2022 年 4 月 13 日(水)18:00~19:00
開催場所	Zoom によるオンライン開催
参加人数	6 名 高木主査, 渡邊幹事, 佐々幹事, 小坂幹事, 大本幹事, 魚住幹事
議事	<p>1. 本研究専門委員会の今後の方針について 延長はせず、第 2 期(期限は 2021 年度末まで)で終了とする。但し、最終回となる委員会を 5 月頃に開催する。 最終回を期限後に実施することについては学会事務局の了解済み。</p> <p>2. 最終成果物について 第 1 期を含むこれまでの委員会の全プレゼン資料(2020 年秋の学会での企画セッションで使用したものを含む)を束ねて、表紙を付けた程度のものを学会・炉物理部会のホームページに掲載してもらうという案を基本方針として進めることとなった。 Task2 については仕分け案を渡邊幹事が作る。 資料や最終案の検討のため、次回委員会の 1 週間くらい前に幹事会を開催する予定。</p> <p>3. 次回委員会(最終回)について 5 月 26(木)、15:00~、高木先生の Zoom 利用、担当幹事は魚住。 議題:高木先生の講演:「軽水炉での Th 利用について(仮題)」、本委員会の最終成果報告について。 取り敢えず、日時を委員にアナウンスする(4/14 実施済み by 担当幹事)。 関連資料として、これまでの委員会の全プレゼン資料(2020 年秋の学会での企画セッションで使用したものを含む)、議事録などを都市大のストレージに保管しておく。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

2022 年 4 月 25 日

専門委員会開催報告

会合名	第 12 回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG 等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022 年 3 月 23 日(水)18:00~18:40
開催場所	Zoom によるオンライン開催
参加人数	6 名 高木主査, 渡邊幹事, 佐々幹事, 小坂幹事, 大本幹事, 魚住幹事
議事	<p>1. 本研究専門委員会の今後の方針について 本来の予定通り、2021 年度末で終了する予定。</p> <p>2. 最終成果物について 2022 年秋の大会での企画セッションとする場合と、報告書としてまとめて学会のホームページに掲載する場合の 2 つの方法が考えられるので、次回幹事会で決める。</p> <p>3. 次回委員会(最終回)について 遅くとも 5 月中に実施する予定だが、本来の期限(2022 年 3 月)以降となっても問題無いかを学会事務局に確認する(担当:魚住)。 内容は、インドの方の講演(高木主査がコンタクトを取る)と、本研究専門委員会の終了関連を予定。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

会合名	第11回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 幹事会 メール審議 その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年10月15日(金)17:00~19:00
開催場所	Zoomによるオンライン開催
参加人数	24名 高木主査, 渡邊幹事, 佐々幹事, 小坂幹事, 大本幹事, 魚住幹事, 吉岡委員, 鈴木委員, 深澤委員, 宇留賀委員, 後藤委員, 伊藤委員, 松井委員, 高橋委員, 永沼委員, 鴨志田委員, 中里委員, 山脇委員, 奥出委員, Peng Hong Liem委員, 稲垣委員, Hania(NRG), 木下(MOSTECH), Aji(MOSTECH), 有馬(九大)
議事	<p>1. 溶融塩炉に関する研究開発の紹介 溶融塩炉に関する研究開発を行っている次の3機関より、各々の活動内容が紹介された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Molten salt irradiation test at NRG Petten」: Dr. R. Hania(オランダ、NRG) ・「MSR Development in Thorium Tech Solution Inc.」: 吉岡委員(日本、トリウムテックソリューション) ・「Molten Salt Technology development for deployment of TMSR」: 木下氏、Aji氏(日本、MOSTECH) <p>2. 中国の最新動向(深澤委員) フッ化物溶融塩炉の建設を進めている中国の動向が深澤委員より報告された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

2022 年 4 月 25 日

専門委員会開催報告

会合名	第 11 回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2021 年 8 月 30 日(金)18:00~19:00
開催場所	Zoom によるオンライン開催
参加人数	6 名 高木主査, 渡邊幹事, 佐々幹事, 小坂幹事, 大本幹事, 魚住幹事
議事	<p>1. 前回(5/18 国際シンポジウム)の議事録について 本議事録を確認した。</p> <p>2. 予算確認 委員会や国際シンポジウムでの講師への謝金が不要であったことから、予算は使わない見込みであることが確認された。</p> <p>3. 次回委員会について 10 月中旬を予定。 内容は、熔融塩炉に関する研究開発の紹介として、以下の 3 者による講演をお願いする予定: Dr. R. Hania(オランダ、NRG)、吉岡委員(トリウムテックソリューション)、木下氏(MOSTECH)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	